

平成 29 年度環境技術実証事業

テーマ自由枠の対象技術選定のための事前調査計画【雛形】(案)

実証運営機関

平成 29 年 1 月 10 日

1. 目的

テーマ自由枠の申請技術の審査、及び採択技術に関する実証機関の公募を行うにあたり、以下を目的として、「文献調査」及び「ヒアリング調査」を実施する。

- (1) 申請書類の信頼性等の確認
- (2) 審査に必要な情報の取得
- (3) 既存技術分野との関連性に関する情報の取得
- (4) 実証機関の公募のための情報取得（実証項目、実証方法、実証費用）
- (5) 想定外事象の未然防止のためのコミュニケーション

2. 調査方針

- ・実証運営機関は、実証申請者及び有識者に対し、ヒアリング調査を実施する。
- ・有識者ヒアリング調査の対象者には、当該分野の有識者を 3 名選定する。
- ・有識者ヒアリング調査の追加は、該当すると考えられる技術分野の基幹的機関へ照会する等、照会先を通じて明らかになる事象に従い、必要に応じて行う。その際の有識者選定については、実証運営機関に一任される。

3. 調査方法

- ・文献調査は、応募書類及びインターネットをベースとした公開情報調査とする。
- ・申請者へのヒアリング調査は電話または訪問調査とする。
- ・有識者へのヒアリング調査は訪問調査とする。

表 1 ヒアリング調査対象者一覧（事務局案）の例

No.	実証対象製品名	実証申請者	当該分野の有識者
1	技術 A（略称：XXXX）	株式会社〇〇〇〇 （XX 県 XX 市 XX 区）	※〇〇学会に照会（必要により有識者を紹介して頂く） http://www.xxxxxxxxxx
2	技術 B（略称：XXXX）	〇〇〇〇株式会社 （XX 県 XX 市）	
3	技術 C（略称：XXXX）	株式会社〇〇〇〇 （XX 県 XX 市）	
4	技術 D（略称：XXXX）	株式会社〇〇〇〇 （XX 県 XX 市）	※〇〇学会に照会（必要により有識者を紹介して頂く） http://www.xxxxxxxxxx

4. 実施スケジュール

平成 29 年 2 月～ 3 月

5. 調査項目（案）

目的	項目	小項目	事前調査	申請者 ^{ヒア}	有識者 ^{ヒア}	備考
(1) 申請書類の信頼性等の確認	会社規模等	資本金、従業員数、事業内容、・・・	○	○	—	
(2) 審査に必要な情報の追加取得	形式的形式	申請内容に不備は無い	○	—	—	
		商用化段階にある技術か	○	○	—	
		公的資金による類似の実証等が行われていないか	○	○	—	
		申請内容に不備はないか	○	—	—	
	実証可能性	予算の観点から実証が可能か？	—	—	—	※(4)で確認
		実証項目や実証試験方法が提案されているか	—	—	—	
		実証試験計画が適切に策定可能か？	—	—	—	
	環境保全効果等	技術の原理・仕組みが科学的に説明可能か？	—	○	◎	
		副次的な環境問題等が生じないか？	—	○	◎	
		環境保全効果が見込めるか？	—	○	◎	できれば環境保全効果の大きさも
先進的な技術であるか。		—	○	◎		
(3) 既存技術分野との関連性	既存技術分野の該当有無		—	△	—	
	既存技術分野との関係性の有無		—	△	—	
	休止中技術分野の該当有無		—	△	—	
(3) 実証機関の公募のために必要な情報の取得	実証項目	ETV 事業として実証すべき項目は何か？	—	○	○	
	実証方法	(実証機関公募時の) 実証方法は？	—	○	○	
	実証時期	実証可能な(望ましい) 時期が限定されるか？	—	○	○	
	実証期間	実証に要する期間はどれくらいか？	—	○	○	
	実証年度	次年度にまたがる実証となるか？	—	○	○	
	実証費用	実証費用はどの程度と想定されるか？	—	○	○	
	実証機関の候補	どのような機関が実証機関になりうるか？	—	○	○	
(4) その他	信頼性	法令違反がないか？	—	○	○	
		会社として事業実施の体力があるか？	—	○	—	

6. 委員への事前確認事項

- ・申請技術について気になる点を、専門的知見からご検討・ご助言いただく。
- ・有識者問い合わせ先の妥当性について、専門的知見からご検討・ご助言いただく。
- ・より適切な有識者をご存知であれば、ご紹介いただく。

以上